

◀ 巻末の付録USBメモリに詳細版を収録 ▶

第7部

IPv6デプロイメント (概要版)

樋山 寛章、廣海 緑里、中村 修、加藤 朗、宇多 仁

第1章 WG概要

World IPv6 day、World IPv6 Launchなどを通して、世界的に商用ベースでのIPv6デプロイメントの波が加速している。しかしながら、現在のホームユーザ向けIPv6サービスはIPv4サービスのオプションであることが多い。また、多くの商用OSや商用デバイスの基本設定がIPv4のみ、もしくは、IPv4/IPv6デュアルスタックのネットワークを前提としており、IPv6のみのネットワークはほとんど想定されていない。IPv4アドレスブロックが枯渇した現在、IPv6のみのネットワーク環境や複数のアドレス変換・カプセル化技術を組み合わせたIPv4ネットワークの提供が今後進んでいくことが想定されるが、それらの技術の実装上、運用上の知見は未だ十分に蓄積されていない。

そこで、末端利用者レベルでの快適なIPv6利用環境の構築を目指し、IPv6onlyアクセス技術やアドレス変換技術とその問題点、実装上、運用上の知見(TIPS)などをWIDEプロジェクト内外で情報共有する分科会として、2012年2月2日live-with-ipv6 Working Groupを発足した。分科会チェアは樋山寛章(奈良先端科学技術大学院大学)、廣海緑里(インテックネットコア)、中村修(慶應義塾大学)の3名である。

第2章 2012年度の活動

live-with-ipv6分科会発足前の2011年12月から2012年12月までの主な活動をここに列挙する。各詳細については、2012年度live-with-ipv6分科会活動報告(詳細版)を参照していただきたい。

- 2012/01/20: JANOG 29ライトニングトークにて、2012年3月WIDE合宿協力者を募集。
- 2012/02/02: live-with-ipv6分科会発足。
- 2012/03/04 - 03/08: 2012年3月WIDE合宿IPv6実験を実施。併設ワークショップも開催。
- 2012/03/25 - 03/30: 2012年3月WIDE合宿IPv6実験の結果をIETF 83 v6ops working groupBoFにて発表。
- 2012/05/25 - 05/26: 2012年5月WIDE研究会(名古屋大学)にて、名古屋大学河川研究室河合貴嗣らの協力を得て、LISPによりAPAN LISPからトンネルしたIPv6アドレスブロックとDNS64、NAT64、DHCPv6を用いたIPv6 onlyネットワーク検証環境をBoF会場に提供。
- 2012/07/05: JANOG 30にて、2012年3月WIDE合宿での実験結果をパネルディスカッション形式にて発表。
- 2012/09/02 - 09/06: 2012年9月WIDE合宿IPv6実験を実施、併設ワークショップも開催。
- 2012/10/03: 2012年9月WIDE合宿IPv6実験の結果を踏まえてインターネットドラフトを更新。
- 2012/10/17 - 10/18: KREONET Workshop2012(韓国 釜山)にて、日本のIPv6デプロイメント状況やWIDE合宿での実験を紹介。
- 2012/11/16: 2012年9月WIDE合宿IPv6実験結果をまとめた論文をインターネットコンファレンス2012にて発表。
- 2012/12/01: 2012年12月WIDE研究会にてBoFを開催。2013年3月合宿での実験内容を議論。